



## 2020-21 年度 ローターリー財団の目標

ロータリー財団管理委員長エレクト

K.R. ラビンドラン

2020年1月22日

皆さん、おはようございます。数年前、私のクラブはドイツのロータリアンとともに、ロータリー財団の支援の下、津波により破壊された病院に代わる近代的な産科病院を私の母国の南部に建設しました。

当時ロータリー財団管理委員長だった李東建氏がスリランカを訪問したとき、私たちは同氏とともにこの新しい病院を訪れました。

そこで私たちが見たのは、お産のためにやってくる母親や、新生児を診察に連れてくる人びとなど、これまでその地域にはなかった重要なサービスを受けにやってきた何百もの家族の姿です。次に、多くの労力と資金をかけて建てられた新生児集中医療棟を視察しました。

そこには、その一つひとつにロータリーの歯車のついた9つの保育器があり、そのすべてが使われていました。

その一つの中にいたのが、わずか900グラム(2ポンド以下)の女の子の赤ちゃんです。

さまざまなチューブや線につながれたその赤ちゃんは、私の手のひらに入ってしまうほどの大きさです。その赤ちゃんは、その一息一息のために闘っていました。その子の100倍の大きさの誰よりも必死に闘っていました。

その小さな胸が浮き沈みするのを見ていた私は、自分が息を凝らしてこの子の次の呼吸を待っていることに気づきました。次の呼吸、そしてまた次の呼吸と。この呼吸の一息一息が、このとても小さな命から懸命に吐き出されていたのです。

私は、この世界にあまりにも早く飛び出してしまったこの赤ちゃんをととても不憫に思いました。

私はささやきました。「がんばれ、がんばるんだ。がんばれば、大きな世界が待っているんだ」と。

その赤ちゃんは、小さく、貧しく、病気にかかっていた。でも、決して見捨てられたわけではありません。その子を置き去りにして死なせることなど決してしません。誰かの大切な子であるその赤ちゃんを、私たちは守りたいと思いました。

私たちはできることすべてを尽くしました。この子にチャンスを与え、財団の力によって生きてもらうために。私は、このことをお伝えしたいと思い、今日ここにやってきました。

私たちの財団は、静止していません。進化と回転を続け、時代に沿って変化しています。

本年度、管理委員会は、「大規模プログラム」と呼ばれる新しいプログラムを開始します。

この補助金は、ロータリークラブが大きな規模で考え、多くの人に恩恵を与えるために、協力パートナーや支援者と一緒に、大きな問題への包括的な解決策に取り組むよう促すものです。

ここで一例を紹介しましょう。子宮頸がんは、ワクチンで予防可能な唯一のがんです。

もし一国のすべての子どもにワクチンを投与できれば、特に8歳から10歳の女兒にワクチンを投与し、35歳から45歳の年齢層のすべての女性に検査をすれば、理論上、子宮頸がんは根絶できます。

しかしこれは、ロータリアンだけで国や地域で成し遂げられることではありません。これは、あらゆる場所で実施可能なプロジェクトですが、どの組織でも、たとえロータリーであっても、単独で行うことはできません。これは、私たちのポリオプログラムでの活動と同様に、いくつもの機関が協力して取り組まなければならない活動です。

このような種類のプロジェクトが、「大規模プログラム」が支援するプロジェクトなのです。「大規模プログラム」では、毎年、200万ドルの補助金が一口授与されます。私はこの補助金が、クレム・レヌーフ元会長により1978年に導入された3Hプログラムがもたらしたものと同様の変化を財団のプロジェクトにもたらすと考えています。

ポリオプラスがどのようにフィリピンで生まれたかを覚えておられるでしょう。このプログラムについては、いずれもっと知っていただくこととなります。

ここで、次年度に向けたほかの優先事項についてお話しします。本年度の優先事項は、新しいロータリー行動計画に沿うもので、より大きなインパクトをもたらすためにロータリー財団が行うすべてのことにつながっています。

第一の優先事項はもちろん、ポリオ根絶です。

これは、組織全体にとっての最優先事項です。私たちは、全身全霊を捧げて、この目標に取り組まなければなりません。私たちは、この仕事をやり遂げなければなりません。

昨年、ポリオの症例が増えたことは事実です。これは心配の種ですが、予測していたことでもあります。私たちは必ず解決策を見出すでしょう。

既に、ポリオの症例を99.9パーセントも減らしたのですから。ロータリーのおかげで今日、1800万人が自由に歩いています。また、2型と3型のポリオ株は既に根絶され、残るは1型のみとなっています。

野生型ポリオウイルスが報告されているのは現在、パキスタンとアフガニスタンの2カ国のみです。私たちはこの仕事をやり遂げます。

第二の優先事項は、2025年までに恒久基金を20億2500万ドルとし、年次基金とポリオプラスへの寄付を増やすことです。

この年度の総合的な寄付目標は、前年の目標よりわずか1000万ドル多い4億1000万ドルです。この目標の内訳をお話ししますと：

- まずポリオに 5000 万ドル。ゲイツ財団からの 2 倍の金額の上乗せによってこれは、総額 1 億 5000 万ドルに変わります。すべてのクラブが 1,500 万ドルだけ寄付すれば、この目標は達成可能です。
- 次に年次基金に 1 億 3500 万ドル。
- 恒久基金には、寄付と誓約を含めて 8500 万ドル。
- そして、その他の現金寄付 4000 万ドルを加えると、総額 4 億 1000 万ドルとなります。

ここで、1 億 3500 万ドルの年次寄付目標について少しお話しさせてください。20 パーセント近くのクラブとその会員は、財団の年次基金に寄付を行っていません。信じられますか？私たちはもっと良い結果が出せるはずです。

そこで、最強軍団とも言えるこの同期の皆さまに、この数字を是正していただくようお願いしたいと思います。皆さまは最強の同期ガバナークラスでしょう？グローバル補助金は、クラブが人びとの生活を変えることを可能にします。絶えず需要が高まっているグローバル補助金の資金を確保するには、この目標を達成しなければなりません。

同様に恒久基金は、すべてのロータリアンが自分の価値観を永続させ、後世のロータリアンのための活動資金を生み出す素晴らしい手段です。強固な恒久基金は、財団の財務の長期的な安定を約束します。

私たちの目標は野心的ですが、達成が可能です。「2025 年までに 20 億 2500 万ドル」のイニシアチブは、恒久基金を 2025 年までに 20 億 2500 万ドルとするものです。

2025 年までに、恒久基金は、予測残高と遺贈などの誓約額のほかに、純資産が最低 10 億ドルになると予測されています。20 億ドルの恒久基金で私たちができるよいことを想像してみてください。投資収益のみから得られる約 1 億ドルで、今後何年もロータリアンが、世界中で人びとの生活を変えるさまざまなプロジェクトを続けていくことができるでしょう。

第三の優先事項は、補助金の測定可能なインパクトを高めることです。

かつて、私たちの「善行」は、世論の曖昧な認識のみで測られていました。今日の私たちは、ロータリーの慈善行為が地域社会にもたらした真のインパクトを知りたいと思っています。

村の学校の教室に椅子や机を寄贈することは、正真正銘の奉仕です。しかし、その教室を使う子どもは何人いるのでしょうか。その子どもたちを教えるにふさわしい教師はいたのでしょうか。その椅子は安全でしたか。50脚の椅子が必要なときに椅子5脚を寄贈して十分と言えるのでしょうか。

私たちは、自分の充実感を満たすだけではないプロジェクトを生み出す必要があります。私たちのプロジェクトは、人びとの生活を変えるものでなくてはなりません。ただお金のことを言っているのではありません。それはこれまでも同じです。これは人びとの人生や命にかかわる問題です。

冒頭、財団の支援を通じて私の祖国に建てられた産科病院についてお話ししました。最初の訪問から約2年後、私は再びこの病院を訪れる機会がありました。私たちは、また同じ集中治療棟に案内されました。このとき、赤ちゃんが入っていた保育器はわずか数個のみです。

集中治療棟を出た後、私たち全員はホールに集まり、医師や看護師と話をしました。彼らは、私たちが病院を建設してから14万人の赤ちゃんが生まれたことを教えてくれました。

その後私は、一人の子どもを定期検診に連れてきていた若い母親を紹介されました。大きな黒い目と笑顔がかわいい1歳か2歳くらいのその子は、歩こう、話そうと懸命です。

子ども好きな私が無意識にその子に近づくと、その子も私に近寄ってきました。私はその子を抱き上げ、母親とおしゃべりをしました。そこへ、一人の医師が笑顔で近づいてきて尋ねました。「ミスター・ラビンドラン、前にこの病院を訪れたときに、とても心配そうに見ていた保育器の中の赤ちゃんを覚えていますか」

「もちろんですとも」と、私は答えました。「どうして忘れられますか」

その医師は一瞬間を置いた後、私が抱いていた女の子に笑顔で近寄り、その子を軽くたたきました。そして言ったのです。「この子がその赤ちゃんです」

私は息が止まりそうになりました。

この子があの赤ちゃんだったのです。私の腕の中にいる小さな女の子が、ロータリーのおかげで生きることのできた赤ちゃんだったのです。ロータリー財団のおかげで、この子はほほ笑み、笑い、両親に喜びをもたらしました。

このことを考えると、ほかのすべてのことが吹き飛んでしまいます。

そこで今日、皆さま全員にお願いしたいことがあります。自国に帰り、クラブに戻って次年度の計画を立てる時に、財団のことを一番に考えてほしいのです。

財団は、ロータリー会員の財産です。

財団は人びとの人生を変えるのです。